

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社みちのく銀行（証券コード:8350）

【変更】

長期発行体格付	A-	→	BBB+
格付の見通し	ネガティブ	→	安定的
債券格付（期限付劣後債）	BBB+	→	BBB

■格付事由

- (1) 青森市に本店を置く資金量 2.0 兆円の地方銀行。住宅ローン残高は県内トップであるなど、リテール分野に強みがある。青森県内を主要な営業基盤として県内の預貸金シェア（ゆうちょ銀行を除く）はともに約 3 割を占めるなど地元において高いプレゼンスを有するほか、北海道の函館地区にも営業基盤を有している。また、貸出資産も比較的良質である。一方で、公的優先株式などを除いた実質的な資本充実に改善の余地があるうえ、マイナス金利政策導入などを背景に、投資信託の解約益などを除いた基礎的な収益力は大きく低下しており、回復には時間を要すると JCR はみている。このため、格付を 1 ノッチ引き下げた。
- (2) 貸出金利回りが下げ止まりには至っていないことに加え、投信解約益以外の有価証券利息配当金も減少していることから、投信解約益を控除したコア業務純益は 17/3 期に大幅に減少し、18/3 期も前期と同程度の水準となる見込みである。投信解約益を除いた ROA（コア業務純益ベース）は 18/3 期上半期では 0.1% 程度（年換算）と低い。ただ、投信解約益の計上や、与信費用が低水準で推移していることなどにより一定の最終利益を確保している。また、融資支援システムの活用などで地元中小企業向け貸出は順調に拡大しているうえ、利回りの低下幅も足元では縮小している。収益性の比較的高い貸出金の増強のほか、現在取り組んでいる店舗網の効率化などの抜本的なコスト削減により、収益改善に繋がられるか注目していく。
- (3) 金融再生法開示債権比率は 17 年 9 月末 1.34% と低く、貸出資産の質は総じて良好である。足元の与信費用は引当金の戻入もあり低位で落ち着いている。大口の不良債権処理はほぼ一巡していることから、今後多額の与信費用を計上する可能性は小さいと JCR は考えている。
- (4) 有価証券運用においては、金利上昇に備えた先物によるヘッジ取引の活用で、国内債券の金利リスクを抑制している。一方、運用商品のリスク特性に応じた投資枠や損失限度額などに基いたリスク管理がなされており、足元では価格変動リスクの高い投信の残高を落としているものの、売却益を含めた収益確保のため機動的な運用を行っている。リスクテイクの方針や売却損益の動向を今後も注視していく。
- (5) 公的優先株式や適格旧 Tier2 資本、一般貸倒引当金などを控除した調整後連結コア資本比率は 6% 程度と引き続き改善の余地がある。17/3 期に実施した公募増資により資本水準は改善し、収益性を勘案したリスクアセットのコントロール等にも努めているが、基礎的な収益力の低下や中小企業向け貸出を中心としたリスクアセットの増加を勘案すると、調整後連結コア資本比率の改善には時間を要すると JCR はみている。

（担当）阪口 健吾・清水 達也

■格付対象

発行体：株式会社みちのく銀行

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
120%コールオプション条項付第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(劣後特約付)	70億円	2013年12月19日	2019年1月31日	利息を付さない	BBB

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2018年1月29日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：阪口 健吾
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2014年5月8日)、「金融機関等が発行する資本商品・TLAC商品の格付方法」(2017年4月27日)として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社みちのく銀行
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル